

学校 教育 目標	子ども達が自分の中に持っている豊かな心、たくましさ、自ら学ぶ力をすこやかに伸ばすために『学び合い 認め合い 笑顔輝く 都田西っ子』 ○子ども一人ひとりの個性を尊重し、学習の楽しさを実感できるようにします。 ○子ども一人ひとりにとって、居場所のある安心できる学校生活を実現できるようにします。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・共に生活する中で、自分のよさや友だちのよさを認め合える子を育てます。(徳・公) ・豊かな体験活動を通して心と体をすこやかに育み、心を言葉にのせて伝え合える子を育てます。(徳・体) ・基礎基本の定着を図り、夢や願いをもって自ら学び続ける子を育てます。(知・開) 				
学校 概要	創立 41 周年	学校長 三橋 淳子	副校長 神田 智昌	2 学期制	一般学級: 30 個別支援学級: 4
児童生徒数: 1032 人	主な関係校: 都田中学校 川和中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈言語能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉	都田中学校 都田小学校 都田西小学校	○思いやりと自信を持って未来を切り拓く子ども ○学び合い、心身ともに、健やかに生活できる子ども ・各教科領域において、小中9年間で重点的に子どもにつけたい力を話し合い、それを意識した授業を公開。(ブロックで年2回:中学校1回、小学校隔年1回) ・6年生が児童生徒交流日に中学校の部活参加、合唱祭の鑑賞や一緒に合唱をする。 ・教務会を中心に、具体的に連携が深まるよう取組や行事を確認する。

中期 取組 目標	○「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを進める中で、自分を大切にするとともに周りの人と協調し、他を思いやる心を大切にしたい教育活動を行うことを通して「生きる力」を育む。そのためにも、児童理解に基づいた対応を全教職員で共有し、その連携のもとに進めていく。 ○確かな学力の定着をめざして、教職員の授業力の向上に努める。授業の内容や基本的な進め方を学年単位で確認し具体化するとともに、指導と評価の一体化を図り、豊かな授業づくりに努めることができるようにしていく。 ○保護者・地域と連携・協働して、教育環境の整備を推進していく。 ○教職員が自己の能力開発やキャリア形成を積極的に捉えながら意欲を持って仕事に取り組めるようにすることを通して、教職員のキャリアアップを図る。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知 担当 重点研究推進委員会	○教師の指導力向上を図りながら重点研究のテーマ『言葉の特徴や使い方についての理解を深め、自分の考えを表現する子の育成』を目指し、国語科を通して技法や語彙力を身に付け自分の考えを形成する力を育成する。○休業期間の学習状況を確認し、基礎基本の確かな定着に努める。
豊かな心 担当 人権指導委員会	○『自分からあいさつ』が定着できるよう、年2回児童会活動で取り組んでいる「あいさつ運動」の充実や様々な場面での声かけとともに、学校・家庭・地域が協力して推進していく。○他学級・他学年との交流を通して、自他ともにかけがえのない存在であることを考え、いじめや差別がない心を育てる。
健やかな体 担当 保健・体育委員会	○学校保健委員会のテーマを『自分の体は自分で守ろう』とし、休業期間中に乱れた生活習慣や心をケアし整える取組をしたり、健康とは何かを考えたりする。○運動委員会による運動集会の実施や体力テストの結果を活用し、進んで運動に関わり、楽しさや喜びを味わいながら体力向上を目指す。
児童生徒指導 担当 児童指導委員会	○休業期間が長期化したため、一人ひとりの児童の様子を丁寧に見とり、安心して学校生活を過ごすことができるよう、全教職員で取り組む。○児童支援専任、特別支援コーディネーターを中心とする組織的指導体制を確立し、事案発生時は学校全体で組織的に対応していく。
特別支援教育 担当	○特別支援コーディネーターを中心に、特別支援教育の充実を図る。○特別な支援を必要としていたり学習に困り感をもっていたりする児童や、休業により生活習慣が乱れた児童が安心して過ごすことができるよう、学習ルーム等の活用の取組を進める。○支援計画・指導計画を作成し、活用していく。
安全管理 担当 安全指導委員会	○児童自身が有事の際に適切な対応ができるよう火災や地震発生を想定した避難訓練、関係機関と連携しての防災訓練、不審者侵入を想定した防犯訓練等を計画的に行う。○登下校を含めた防犯・防災・交通安全について保護者・地域と情報共有し、実効性のある対策の実現に向けて努める。
地域連携・ 学校運営協議会 担当 学家地連担当	○地域の行事や活動に積極的に関わるとともに、地域コーディネーターを通して『身近な方』とのつながりを生かした教育活動を展開し、地域の教育力を積極的に生かすことができるようにする。○『まちとともに歩む懇話会』を通して学校の教育活動について理解を頂くとともに、連携について共有する。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	○定例・臨時のいじめ防止対策委員会を中心に、いじめの認知やその後の経過を確認し再発防止に努める。○職員の児童理解を高めるとともに、いじめアンケートを実施していじめを早期にとらえられるように努める。○児童に相談することの大切さを伝え続けるとともに、話しやすい環境づくりに努める。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 主幹会・教務会	○校長、副校長が先頭に立ち、大規模校の環境を生かした組織力を高める。○教職員構成は中堅若年層が多い。その育成を図るため、学年・副主任制度や一人一役を心がけ、責任と見通しをもって業務を遂行できるようにする。○職員室業務アシスタント等との業務分担を整理し、業務の効率化や時間の確保・充実を図る。